

編集後記

透析医療の現場では近年、「医学的には正しいが、患者にとってそれが最善なのか」と立ち止まる場面が確実に増えている。高齢の患者、独居の患者、長期透析による身体機能の低下を抱える患者を前に、治療を続けることの意味や限界について、医療者自身が問いを抱えながら対話を重ねているのが実情ではないだろうか。

腎代替療法の選択におけるSDMは一定程度広がりを見せている一方で、透析導入後の生活の変化や、体調の悪化、通院負担の増大といった現実と直面すると、「この先をどう考えるか」という話題は避けて通れなくなる。その一方で、ACPやCKMといった言葉は知っていても、「いつ、誰が、どのように話し始めればよいのか」に明確な正解はなく、声をかけること自体にためらいを覚えることも

ある。

本特集に収めた論考は、そうした現場の悩みや迷いから出発している。どれも理想論ではなく、実際の患者・家族とのやり取りのなかで試行錯誤を重ねてきた経験に基づくものである。そこに共通するのは、治療法を「決める」ことよりも、患者を医療の参加者として尊重し、対話を続けようとする姿勢である。

明確な答えがあるわけではない。しかし、日々の診療のなかで立ち止まり、患者の言葉に耳を傾け、問い続けること自体が、SDMやACPの実践なのだと思う。本号が、読者それぞれの現場での対話を後押しする一冊となり、日々の実践や、今後の研究を発展させるきっかけとなれば幸いである。

(小松康宏)

2026年(Vol.42)特集のご案内

No.① 患者参加型医療として透析を考えるーSDMとACP

No.2 人工知能を活用した透析医療の最適化

No.3 透析治療システムの生体適合性ー基礎的知見から患者報告アウトカムまで

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.42 No.1

©2026年1月10日発行

定価：2,860円

(本体2,600円＋税10%)

- ・2026年 年間購読料(増刊号含む13冊, 税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2026, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541